



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場会社名 株式会社 積水工機製作所 上場取引所 大
 コード番号 6487 URL <http://www.sekisuikouki.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)矢澤 征一
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理部長 (氏名)浜田 洋介 (TEL)072(858)1121
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,843	△13.4	35	—	33	—	28	—
24年3月期第2四半期	3,284	48.7	△221	—	△222	—	△995	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 25百万円(—%) 24年3月期第2四半期 △996百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	3.08	—
24年3月期第2四半期	△107.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	6,097	2,381	39.1
24年3月期	6,291	2,356	37.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 2,381百万円 24年3月期 2,356百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	△7.4	110	—	100	—	90	—	9.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期2Q	9,350,000株	24年3月期	9,350,000株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	74,401株	24年3月期	74,001株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期2Q	9,275,828株	24年3月期2Q	9,277,194株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	11
(1) 受注の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の金型部門の状況につきましては、主要顧客である国内自動車メーカー各社の新車開発需要は新興国市場向けを中心に回復傾向にあるものの、海外生産拠点の拡充や現地部品調達の流れが止まらず、国内の金型市場では価格の低下を強いられる厳しい状況が続いています。このような経営環境の中、当社は昨年9月末にて関東地区生産拠点である結城工場の操業を停止し、経営資源を本社工場に集約し、経営のスリム化と効率化を図ってまいりました。当第2四半期連結累計期間の受注は、厳しい価格競争の続く中、セキスイブランド戦略と顧客ニーズに対応した独自の提案営業による差別化戦略を推進することにより、前年同期を上回る実績となりました。金型部門の当第2四半期連結累計期間の売上高は、結城工場の操業停止の影響もあり1,999百万円（前年同期比15.8%減）となりましたが、海外部品調達の拡大、総固定費の削減効果等により、営業利益は5百万円（前年同期は154百万円の損失）となりました。

産業機器部門の状況につきましては、主要顧客である大手化学メーカー各社からの高機能押出機関連設備の引合いは低調に推移し、当第2四半期連結累計期間の受注は、前年同期を下回る実績となりました。このような状況の中、重要顧客への提案営業、訪問回数アップによる受注量拡大に努めるとともに、CNTコンポジット成形、バイオプラスチックPLAコンポジット成形など成長市場への技術開発を推進してまいりました。この結果、産業機器部門の当第2四半期連結累計期間の売上高は844百万円（前年同期比7.2%減）となりましたが、変動原価削減効果等により、営業利益は20百万円（前年同期は66百万円の損失）となりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は2,843百万円（前年同期比13.4%減）、営業利益35百万円（前年同期は221百万円の損失）、経常利益33百万円（前年同期は222百万円の損失）、四半期純利益は28百万円（前年同期は995百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ194百万円減少し、6,097百万円となりました。主な内訳は資産側においては、流動資産が125百万円、固定資産が68百万円減少しました。流動資産は売上債権が104百万円増加しましたが、その他資産が227百万円減少しました。固定資産の減少は減価償却費98百万円によるものです。負債側においては、流動負債は129百万円減少しました。短期借入金の減少59百万円と設備未払金の減少71百万円等によるものです。純資産は四半期純利益28百万円の計上等により前連結会計年度末に比べ25百万円増加し、2,381百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動で使用した資金は26百万円となりました。主な減少の内訳は、売上債権の増加104百万円とたな卸資産の増加43百万円によるものであり、主な増加の内訳は税金等調整前四半期純利益33百万円と減価償却費98百万円、仕入債務の増加37百万円等です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動で獲得した資金は130百万円となりました。有形固定資産の売却による収入224百万円が主なものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で使用した資金は149百万円となりました。長期借入金の返済90百万円と短期借入金の返済49百万円が主なものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間の現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ45百万円減少し、470百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、当社グループに関連する金型市場は、国内主要自動車メーカー各社の新車開発需要は新興国市場向け中心に増加しており、引合いは活発に推移しています。一方、産業機器市場では、高機能フィルム・シート押出機関連設備の需要は、厳しい状況で推移するものと思われま

す。このような状況の中で、金型部門におきましては、インパネ金型のバリュープロポジション（価値提案）構築とSTPS活動によるコストダウン、グローバルパートナーとの新たな付加価値創造、バルブゲートシステムの商品ラインアップ、板金の樹脂化など次世代新製品の開発による新事業の拡大を推進してまいります。

産業機器部門におきましては、変動原価の削減、設計業務の標準化など引き続き収益力の向上を図るとともに、重要顧客開発部門への訪問強化を図ってまいります。また、カーボンナノチューブ（CNT）、PLAバイオプラスチック、電池用セパレーターの開発、高トルク2軸押出機の開発など成長市場に向けた技術開発と事業化戦略を推進してまいります。

当社グループは、上記の施策を着実に実施することにより、通期連結損益黒字化を最優先の課題として取り組んでまいります。

なお、本年8月、合成樹脂成形品メーカーである三光合成株式会社と資本・業務提携を締結し、同社は、株式会社アークの所有する当社株式の一部を買取り、当社の筆頭株主となりました。

同社は自動車部品を中心としておりシナジー効果が見込まれます。具体的には金型から量産までの受注を可能にした個別顧客戦略、グローバル化の加速、新技術工法の共同開発、三光グローバル調達を活用などがあげられます。

当社は、プラスチック成形分野において事業関連性の強い三光合成株式会社との協業を推進し、技術や生産拠点、人材などの経営資源の相互利用を図り、両社の事業発展と企業価値の向上を目指してまいります。

当期の通期連結業績予想については、売上高5,800百万円、営業利益110百万円、経常利益100百万円、当期利益90百万円を見込んでいます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は、軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	516,456	470,488
受取手形及び売掛金	2,148,030	2,252,243
仕掛品	303,063	349,085
原材料及び貯蔵品	27,146	24,926
繰延税金資産	19,686	20,337
その他	256,607	28,669
貸倒引当金	△4,000	△4,000
流動資産合計	3,266,990	3,141,750
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	635,872	618,744
機械装置及び運搬具(純額)	647,966	591,891
土地	1,529,436	1,529,436
建設仮勘定	2,401	7,866
その他(純額)	20,949	17,917
有形固定資産合計	2,836,626	2,765,856
無形固定資産		
ソフトウェア	63,999	62,528
その他	4,691	4,643
無形固定資産合計	68,691	67,172
投資その他の資産		
繰延税金資産	8	4
その他	140,233	122,408
貸倒引当金	△21,214	—
投資その他の資産合計	119,027	122,412
固定資産合計	3,024,345	2,955,441
資産合計	6,291,336	6,097,191

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,497,715	1,535,335
短期借入金	1,720,466	1,660,941
未払法人税等	10,804	7,569
賞与引当金	55,900	53,200
設備関係支払手形	6,272	9,845
設備関係未払金	79,702	8,556
その他	232,231	197,657
流動負債合計	3,603,092	3,473,107
固定負債		
長期借入金	130,000	50,000
長期未払金	44,210	44,210
リース債務	126,606	115,984
繰延税金負債	28,484	29,950
退職給付引当金	2,630	2,137
固定負債合計	331,930	242,282
負債合計	3,935,023	3,715,390
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,613,000	1,613,000
資本剰余金	831,151	831,151
利益剰余金	△73,856	△45,296
自己株式	△17,379	△17,421
株主資本合計	2,352,914	2,381,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,399	368
その他の包括利益累計額合計	3,399	368
純資産合計	2,356,313	2,381,800
負債純資産合計	6,291,336	6,097,191

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	3,284,878	2,843,523
売上原価	3,194,148	2,506,099
売上総利益	90,729	337,424
販売費及び一般管理費	312,426	301,934
営業利益又は営業損失(△)	△221,696	35,489
営業外収益		
受取利息	61	45
受取配当金	712	421
仕入割引	1,440	1,193
助成金収入	4,112	6,509
その他	2,687	377
営業外収益合計	9,015	8,547
営業外費用		
支払利息	9,326	9,608
売上割引	136	105
その他	486	501
営業外費用合計	9,948	10,215
経常利益又は経常損失(△)	△222,630	33,821
特別利益		
災害損失引当金戻入額	10,768	—
特別利益合計	10,768	—
特別損失		
減損損失	462,508	—
退職特別加算金	183,906	—
退職給付制度一部終了損	24,489	—
固定資産除売却損	—	113
投資有価証券評価損	—	106
特別損失合計	670,904	220
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△882,766	33,601
法人税、住民税及び事業税	3,376	2,543
法人税等調整額	109,830	2,498
法人税等合計	113,206	5,041
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△995,972	28,560
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△995,972	28,560

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△995,972	28,560
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△845	△3,031
その他の包括利益合計	△845	△3,031
四半期包括利益	△996,818	25,529
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△996,818	25,529

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△882,766	33,601
減価償却費	159,513	98,765
減損損失	462,508	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,000	△21,214
受取利息及び受取配当金	△774	△466
支払利息	9,326	9,608
助成金収入	△4,112	△6,509
投資有価証券評価損益(△は益)	—	106
固定資産除売却損益(△は益)	2	113
売上債権の増減額(△は増加)	20,095	△104,212
前受金の増減額(△は減少)	△113,043	13,146
たな卸資産の増減額(△は増加)	227,058	△43,207
破産更生債権等の増減額(△は増加)	—	21,214
仕入債務の増減額(△は減少)	△515,010	37,620
未払消費税等の増減額(△は減少)	30,800	△28,907
賞与引当金の増減額(△は減少)	△25,000	△2,700
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△276	△493
その他	145,663	△7,507
小計	△487,015	△1,042
利息及び配当金の受取額	915	466
利息の支払額	△9,159	△9,633
助成金の受取額	6,154	6,509
法人税等の支払額	△7,081	△5,709
退職特別加算金の支出	—	△16,646
転進支援費用の支出	—	△620
営業活動によるキャッシュ・フロー	△496,187	△26,675
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△47,048	△83,761
有形固定資産の売却による収入	—	224,332
その他	90	△10,372
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,958	130,198
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	150,000	△49,524
長期借入金の返済による支出	△176,660	△90,000
リース債務の返済による支出	△8,600	△9,763
自己株式の純増減額(△は増加)	△44	△42
配当金の支払額	△103	△160
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,408	△149,491
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△578,554	△45,967
現金及び現金同等物の期首残高	855,841	516,456
現金及び現金同等物の四半期末残高	277,286	470,488

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計 ※1
	金型	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,374,402	910,476	3,284,878	—	3,284,878
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,374,402	910,476	3,284,878	—	3,284,878
セグメント損失(△)	△154,883	△66,812	△221,696	—	△221,696

(注) ※1 報告セグメントの損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業損失は一致しています。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 ※1	合計 ※2
	金型	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,999,046	844,477	2,843,523	—	2,843,523
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,999,046	844,477	2,843,523	—	2,843,523
セグメント利益	5,455	20,434	25,889	9,600	35,489

(注) ※1 セグメント利益の調整額9,600千円は、セグメント間取引消去であります。

※2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注の状況

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
金型	2,137,156	4.5	1,131,425	△0.6
産業機器	847,410	△11.3	759,673	△14.0
合計	2,984,566	△0.5	1,891,098	△6.5

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。